

『紙管業界の実情についての説明と

ご理解へのお願い』

拝啓

平素は紙管および紙管関連商品をご愛顧いただき心より感謝申し上げます。
誠に恐縮とは存じますが、現在の紙管業界の実情をご説明させていただきますので、何卒ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

新聞や各種メディアでご存じの通り、

- 1) 酢ビモノマーが2020年度比2.4倍に高騰したことを受けて、昨年は「接着剤」が大幅に価格上昇しました。
- 2) ほぼ同時期にエネルギーコストの上昇や鉄鋼業界の需給バランスの影響を受けて「口金はじめ各種金属部品」も価格高騰し、さらに品薄状態であります。
- 3) ペーパーレス化による構造的な需要減少と原燃料価格や物流コストの高騰の影響で、その他副資材としての「表面紙や各種洋紙、等」も次々と大幅に価格上昇しました。

このような状況の中、私たち紙管業界各社は、なんとか需要家様へのご負担を避けようと昨年下半年を耐えながら地道なコスト低減と利益を削って価格の維持に努めて参りましたが、既に自助努力だけでは持続的経営が困難な状況に陥っております。

更にここに来て、紙管業界にとって致命的にも

- 4) 2021年12月には、紙管の主原料「紙管原紙」が2月より10円/kg以上もしくは15%以上という大幅な価格改定をする旨の発表が製紙各社よりなされました。

当然ながらこの背景には、物流コストはじめ人件費の上昇やエネルギーコストの上昇、それに加えて環境対策のエネルギー関連投資があるようです。加えて、環境対策の一環として位置づけられている産廃処理コストや紙管古紙再生コストも上昇を続けています。

確かに環境対策は、我国が全産業的にサプライチェーン全体で取り組まねばならない企業の社会的責任の一部と理解しながらも、昨年から続くこの原価項目全般に渡る価格上昇は、かつてないほど紙管業界を厳しい状況にさらに追い込んでおり、このままでは紙管製造事業の根幹に深刻な影響を及ぼし、製品の持続可能な供給体制を維持することができなくなる危険性も生じているというのが実情です。

需要家様におかれましても同じ環境下にあるとお察し致します故、非常に辛いお願いではございますが、かかる紙管の原価高騰の窮状をご理解いただき、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具